

当院に家族性高コレステロール血症・家族性Ⅲ型高脂血症・高カイトミクロン血症 で受診中の患者さんへ

当院では、「家族性高コレステロール血症・家族性Ⅲ型高脂血症・高カイトミクロン血症の予後実態調査（多施設共同研究）」に参加しております。この研究は、家族性高コレステロール血症・家族性Ⅲ型高脂血症・高カイトミクロン血症の患者さんに対して、治療の実態、合併症の発症や予後を調査する目的で行われています。

1.対象となる方

対象となる方は、当院を受診されている下記の外来および入院患者さんです。

①「家族性高コレステロール血症」 ②「家族性Ⅲ型高脂血症」 ③「高カイトミクロン血症」

2.研究の意義

これらの脂質異常症は、総称して原発性高脂血症と呼ばれますが、動脈硬化や急性膵炎などの合併症を起こす危険が高く、しっかりと治療することが大切です。しかし、まれな病気であることや、一般的な高脂血症と区別することが難しいことから、治療法、予後（病気がどのくらい心筋梗塞、膵炎や死亡に影響を与えるか）がまだ全国レベルで調査されていませんでした。この調査の結果により、原発性高脂血症の合併症や予後がよく分かるようになれば、これまで以上に適切な治療の選択をできるようになると考えられます。また、治療ガイドラインを策定する際の貴重な資料となります。

3.研究の方法

この研究は、厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。具体的には、あらかじめ書面で同意を取得した患者さんに対し、カルテなどの診療情報や予後に関する情報を個人が特定できない形で登録し、その後1年ごとに心筋梗塞や脳梗塞をはじめとする循環器疾患などの病気を発症されたかどうかを調査します。また、途中、転院や転居などで医療機関が変わった場合は、当院の患者さんの場合は当院の研究従事者が、治療を受けておられた医療機関や公的機関（保健所、都道府県・市町村等）に問い合わせて、転出入・死亡等に関する情報について法令上の請求手続き（例. 住民票請求、死亡小票請求による閲覧、転記、写しの交付等）を経て把握し、本研究に利用します。転院先がわからなくなった場合のために、ご家族の連絡先を伺います。この研究は全国で行われ、研究結果は個人が特定できない形で、学会等で発表されます。収集したデータは厳重に管理され、この研究が行われている間、東京大学医学部附属病院で保管されます。なお、研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。研究同意の撤回を申し出る場合は、担当医にお問い合わせ下さい。調べた結果を可能な限り廃棄します（すでに結果を公開してしまっている場合には、データの廃棄ができない場合もあります）。ご不明な点やお問い合わせがありましたら、主治医へお尋ねください。

研究機関名

家族性高コレステロール血症・家族性Ⅲ型高脂血症・高カイトミクロン血症の予後実態調査（多施設共同研究）

研究統括者：石橋俊 自治医科大学内科学講座内分泌代謝学部門 教授（データ収集・データ解析）

データ収集・管理・解析施設：国立循環器病センター（予防健診部循環器学 部長 宮本恵宏）

本研究は、厚生労働科学研究/難治性疾患克服研究、原発性高脂血症に関する調査研究(11-64)事業（主任研究者石橋俊）の研究目的に沿った調査で、その研究費および東京大学医学部研究費（運営費）を使用します。研究参加者への謝金は発生いたしません。

問い合わせ・連絡先

東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 助教 岡崎 啓明

住所：東京都文京区本郷7-3-1 電話：03-3815-5411（内線：33113）

FAX：03-5800-9526 Eメールでのお問い合わせ：hokazaki-tky@umin.ac.jp